

2024年3月10日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**
第66巻第48号(通算3380号)
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう 週報

教会標語

かみさまがすべてのひとと共におられる
ことを証ししていく教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

主任担任教師・牛田 匡 牧師

担任教師・水谷 憲 牧師

隠退教師・小林 達夫 牧師

神はこの世を大切に思い、ひとり子を差し出した。ひとり子に信頼をもって歩みを起こす人がみな、減びることなく、永遠のいのちを得るようになるためである。(ヨハネによる福音書3:16)

レント(受難節) 第4主日礼拝

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂きます》

前奏(黙祷) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

招きの詞 詩編 2編 7-12節

賛美歌 21-305番「イエスの担った十字架は」(1-4節) (©JASRAC)

消灯の詞
賛美歌 21-211番「あさかぜしずかにふきて」(©JASRAC)

聖書 ヨハネによる福音書 12章 1-8節

お祈り
賛美歌 21-297番「栄えの主イエスの」(©教団讃美歌委員会)

メッセージ 「別れの食卓」 水谷 憲 牧師

賛美歌 21-567番「ナルドの香油」(©教団讃美歌委員会)

聖餐 水谷 憲 牧師

共同のお祈りと、平和のあいさつ
賛美歌 21-524番「われらみ名により」(©著作権消滅)

主の祈り
献げ物(*)
派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

祝福 水谷 憲 牧師

後奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©教団讃美歌委員会)

報告 (4頁をご参照ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

* 「献げ物(献金)」はご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 詩編 2編 7-12節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

⁷私は主の掟を語り告げよう。／主は私に言われた。

「あなたは私の子。／私は今日、あなたを生んだ。

⁸求めよ。私は国々をあなたの相続地とし／

地の果てまで、あなたの^a土地としよう。

(脚注 a：別訳「所有」)

⁹あなたは彼らを鉄の杖で打ち砕く

陶工が器を叩きつけるように。」

¹⁰王たちよ、今こそ悟れ。

地上の裁き人らよ、諭しを受けよ。

¹¹畏れつつ、主に仕えよ。／震えつつ、喜び躍れ。

^{12^b}子に口づけせよ。

(脚注 b：別訳「その足に」)

さもなければ、主の怒りがたちまち燃え上がり

あなたがたは道を失うだろう。

幸いな者、すべて主のもとに逃れる人は。

消灯の詞 (参照：マタイによる福音書 21章 7-11節、27章 15-23節)

「ホサナ、ホサナ」と言ってイエス様を歓迎したのに、すぐその後に「十字架につけよ」と叫んだエルサレムの人々のことを思いながら、4つ目のろうそくを消します。(注 c：「どうか私たちをお救いください」の意味)

聖書 ヨハネによる福音書 12章 1-8節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

¹過越祭の六日前に、イエスはベタニアに行かれた。そこには、イエスが死者の中からよみがえらせたラザロがいた。² イエスのためにそこで夕食が用意され、マルタは給仕をしていた。ラザロは、イエスと共に席に着いた人々の中にいた。³ その時、マリアが純粋で非常に高価なナルドの香油を一リトラ持って来て、イエスの足に塗り、自分の髪でその足を拭った。家は香油の香りですばいになった。⁴ 弟子の一人で、イエスを 裏切ろうとしていた イスカリオテのユダが言った。⁵ 「なぜ、この香油を三百デナリオンで売って、貧しい人々に施さなかったのか。」⁶ 彼がこう言ったのは、貧しい人々のことを心にかけていたからではない。自分が盗人であり、金入れを預かっていて、その中身をごまかしていたからである。⁷ イエスは言われた。「この人のするままにさせておきなさい。私の埋葬の日のために、それを取っておいたのだ。⁸ 貧しい人々はいつもあなたがたと一緒にいるが、私はいつも一緒にいるわけではない。」

(脚注 d：別訳「引き渡そうとしていた」)

《先週のメッセージより》3月3日 受難節第3主日礼拝

「真実を語る時」より

牛田匡牧師

聖書 ヨハネによる福音書 6章 47-60, 66-69節

イエス様の周りに集まって来ていた多くの人たちは、その日のパンを求めた貧しい人々でした。イエス様は、そのような人々の思いを知った上で、永遠の命に至る「命のパン」の話をしているわけですが、その「命のパン」とは、イエス様自身の血肉のことだと言われました。そのために「人の肉を食べ、血を飲むなんて、そんなひどい話は聞いてられない」と言って、多くの人たちが離れ去っていったそうです。しかし、ここで言われている「私の血肉」とは、「生身のイエス様の姿そのもの」のことです。それこそ食物を食べて私たちの身体が形作られるように、「イエス様の生き様そのもの」を自身の生き様として、その心と体と一つになって生きるということだと考えられます。そして、そのように生きるようとする時、私たちは仲間との衝突や分裂に突き当たるかもしれません。しかし、対立を恐れて理屈をこね、言い訳を重ねている限り、それは口当たりの良い朽ちるパンを食べているだけです。波風を立てない一時の平穏に甘んじるのではなく、イエス様の姿を自分の生きる姿勢（血肉）とする時、そこには真剣勝負ゆえの痛みも苦しみもありますが、だからこそ心の底からの平安、自由や解放、絶対の命（永遠の命）もあるのではないのでしょうか。

世界各地では数年前から「me too 運動」といって、様々な被害を受けた方々が「私も被害者です」と名乗りを上げて加害者を告発する運動が起こっていましたが、日本ではなかなか広がって来ていませんでした。まだまだ「被害を受けた方にも理由がある」というような偏見と差別が根強くあるからでしょう。しかし、昨年来、芸能界で次々と暴力と加害の事実が明らかにされて来たことによって、これまで長年口を閉ざして来ていた方々が、その被害の実態を少しずつ訴え出て来られています。真実の言葉によって、真実を語り出すように勇気づけられているのでしょうか。今、私たちの暮らしているこの社会の中では、日々、真実の言葉がどれだけ語られているのでしょうか。真実を語る時、多くの友が去っていきます。積み上げて来たものが崩されて失われて行きます。それでもなお、自らの使命のために受難の道を歩まれたイエス・キリストが、確かに今もおられます。そこにこそ本当の自由、本当の命が残されるということを感じて、私たちもまた勇気をもって真実を語る歩みへと導かれて行きます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



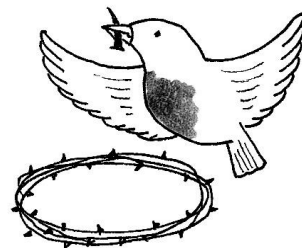
YouTube



◎ 先週の報告 3月3日 受難節第3主日礼拝

礼拝出席 大人5名

献金 大人 4,000円 中継視聴者数8回 感謝



◎次週 2024年3月17日(日) 受難節第5主日礼拝

招きの詞 詩編 22編 28節

聖書 ヨハネによる福音書 12章 20-36節

メッセージ 「もちろん、不安はあるけれど」 牛田匡牧師

賛美歌 305番 (©JASRAC)、509番 (©JASRAC)、502 (©教団讃美歌委員会)

今年のレント(受難節・四旬節)は、2月14日(水)から3月30日(土)までです。レントの期間は、イエス様の生涯や十字架の意味、イエス様に従うとはどういうことかについて考える時です。

◎お知らせ

- ・これまでの「週報」や「メッセージ(全文)」は、ホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。
- ・明日3月11日(月)14時半から東北教区主催「東日本大震災13年記念礼拝」が行われます。「東北教区」のFaceBookページにて配信がなされます(後日の視聴も可能です)。どなたでもご参加ください。「式次第」「お祈り」も同ページからダウンロードすることができます。

<https://www.facebook.com/tohoku.kyoku>

- ・明日3月11日(月)15時~17時半にかけて、九州教区セクシュアル・ハラスメント公開研修会「セクシュアル・ハラスメントの根に水を注ぐな ~創世記3章を巡って~」が開催されます。講師は渡邊さゆりさんです。参加費は無料、事前申し込みも不要で、当日どなたでもオンラインにてご参加いただけます。ご参加をご希望の方は、パソコンやスマートフォンのZOOMにて、下記のIDとパスワードを直接入力してご参加ください。

ZOOM ID: 4 2 3 6 8 2 9 7 2 2

パスワード 1 1 3 9

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
3/17	牛田匡牧師	
3/24	牛田匡牧師	おにぎり支援
3/31	水谷憲牧師	イースター礼拝・誕生者祝福式 愛餐会(昼食会)
4/7	牛田匡牧師	ユウカリスト・考える会

2024 3/11 (月) 日本基督教団 東北教区主催 東日本大震災 13年記念礼拝のご案内

2024年3月11日、東日本大震災および東京電力福島第一原子力発電所事故発生から13年を迎えます。今年も東北地区ではこの日を覚えて礼拝を捧げます。

特に今年は、東電福島第一原発から20km圏内にあり事故発生当初は避難区域となった小浜伝道所を礼拝の場として、またそれを記憶いたします。地域復興の志士者として教会活動を再開している小浜伝道所での伝道員もはじめて参加したい方もあります。

下記7つの教会にて受難13年を振り返る礼拝を開催いたします。また個別に受難13年を振り返ることも可能です。

それぞれの場を東日本大震災13年を振り返り、一緒に礼拝を捧げましょう。

日時 2024年3月11日(月)午後2時30分より
主会場 小高伝道所(福島県南相馬市小高区本町1丁目47)
説教者 飯島信 牧師(小高伝道所・遠江伝道所 牧師)

礼拝ライブ配信
東北教区 Facebook ページより配信
[https://www.facebook.com/tohoku.kyoku/]
パソコンやスマートフォン等で視聴できます
午後2時20分より配信開始(後日視聴することも可能です)

集まって参加できる会場
宮城県: 東北教区センター「エマオ」(仙台市青葉区緑町1-13-6)
仙台第一番丁教会(仙台市青葉区一番丁1-13-12)
山形県: 山形六丁町教会(山形市青葉区3-3-50)
福島県: 飯島教会(いわき市野田町129-1) 安達教会(山形市安達町野川北53-49)
福島教会(福島市宮下町1-6) 会津若松教会(会津若松市宮下町9-20)

礼拝献金のお願
「東北教区東日本大震災教会復興特別会計」「仙台半島地獄教団(教団)」
にさげらます 振替口座 02220-5-137681(会津 日本基督教団東北教区)

お問合せ 日本基督教団 東北教区事務所 TEL 022-222-0998

第22回 九州教区
セクシュアル・ハラスメント公開研修会
セクシュアル・ハラスメントの
根に水を注ぐな
~創世記3章を巡って~

講師: 渡邊さゆり牧師
(日本バプテスト同盟 駒込平和教会)

日時: 2024年3月11日(月)15時~17時半
場所: 九州キリスト教会館4階 及びオンライン(ZOOM)
[Zoom ID: 423 682 9722 パスワード: 1139]

参加費: 無料 どなたでもご参加ください。
なお、以下の方は必ずご参加ください。
教区三牧、常務委員、伝道センター委員、平和・人権部門委員、各地区委員、
教区事務所職員、セクシュアル・ハラスメント対策特設委員
◎キリスト教会館で参加される場合
・自主参加者には交通費補助があります。
・地区委員長の交通費については、各地区で支出していただきますようお願いいたします。
地区によりそれが難しい場合は教区までご相談ください。

講師プロフィール: 渡邊さゆり(わたなべ さゆり)牧師
関西学院大学神学部神学研究所上級後期課程単位取得退学。目的神学専攻。神戸西伝道所、
曾根キリスト教会にて牧会、現在、マイノリティ宣教センター共同主宰、日本バプテスト同盟 駒込
平和教会牧会。ルーテル学院大学、東京家政大学非常勤講師。
アジアの宣教から、信仰的アイニスト関心から聖書テキストの読み直し、わたしたちのエンパー
メントに参画しようとする。

キリスト教会がセクシュアル・ハラスメントの根拠になっているのはなぜでしょうか、セ
クシュアル・ハラスメントの土壌には性差別があります。教会特有の性差別の根拠にはよく
受け継がれてきた聖書の読み方が関わっています。だからこそ、わたしたちの聖書の
読み方を問われなければならないのではないのでしょうか。
聖書と集まって読むキリスト者、真に一人一人が等しく一人の人間として大切にしよう
信仰生活を形成していくために、一緒に考えてみませんか。

主催: 九州教区常置委員会
お問い合わせ: 092-712-6678(九州教区事務所)